

平成 24 年 11 月 27 日

日本証券業協会

(金融経済教育研究会資料)

金融・証券教育支援活動の現状

(別紙 1) 金融・証券教育支援委員会名簿

(別紙 2) 金融・証券教育支援委員会ワーキング・グループ委員名簿

(別紙 3) 提供教材等一覧

(別紙 4) 関係団体等が取り組んでいる金融経済教育等の主な取り組み状況 (未定稿)

(別紙 5) 金融リテラシー向上のための取組み等について (大枠)

(別紙 6) 金融ケイパビリティ国家戦略に対する英国 FSA の取組みについて

以 上

## 金融・証券教育支援活動の現状

平成 24 年 11 月 27 日

日本証券業協会

### I はじめに

#### 1. 金融・証券教育支援委員会の設置

平成 23 年 6 月に公表された本協会の「証券市場の新たな発展に向けた懇談会」報告書において「金融リテラシー向上」のために取組むべき課題として「金融経済教育の推進を国の基本的政策と位置付け、義務教育の早い段階から実施していくための取組み」、「国民が投資や資産運用について正面から取り組んでいくための支援」が示され、提言がなされた。

本協会では、この提言を踏まえて、平成 23 年 7 月 1 日付で金融・証券教育の普及・啓発に特化するとともに、より中立・公正な観点から金融・証券教育への支援を推進するために「金融・証券教育支援委員会」（メンバー：別紙 1）を設置した。さらに同委員会における検討課題について実務的な観点から検討を行うため、下部組織としてワーキング・グループ（メンバー：別紙 2）も設置している。なお、これらのメンバーは、関係諸団体の代表等により横断的に構成されている。

#### 2. 検討課題

- (1) 金融・証券教育のあるべき姿・到達目標の検討
- (2) 国民各層の世代、知識又は経験に応じた金融リテラシー向上への支援策の検討
- (3) 学校教育における学習指導要領の拡充等、教育現場への働きかけについての検討
- (4) 教育の専門家と金融の専門家を繋ぐ研究分野の横断的な組織の立上げについての検討

### II 本協会における金融・証券教育のあり方

#### ー金融・証券教育のあるべき姿ー

近年の金融の自由化の進展、金融商品・サービスの高度化、多様化が進展する中で、個人が一層適切な金融取引等を行うためには、金融商品の説明や提供される情報を正しく理解する必要性が増している。また、金融商品の高度化や詐欺的行為の手口の複雑化によって、被害に遭う事例が生じている。これらを踏まえ、国民が資産運用をポジティブに捉え、必要な金融・証券や金融商品に関する知識・情報を正しく理解し、自らが主体的に判断できる能力、いわゆる金融リテラシーを備えるべく教育支援体制を体系的に構築し、国民各層及び学校教育現場に対する有用な施策の展開を図っていくことが不可欠であると位置付けた。

### Ⅲ ITツール導入の促進

#### 1. 集合型イベントの見直し

従前のセミナーや講演会のような集合型イベントだけでは、参加者のみが情報を享受できるという極めて閉じられた状況であり、情報が拡散しない（⇒参加者1人当り単価が高い）。このため、インターネットを活用して最大限の情報の拡散を図るべく動画のライブ・オンデマンド配信等に取り組んでいる。

##### 【例】

- ・別紙3 p2 (2) セミナー風景動画 「学校長向けセミナー」
- ・別紙3 p6 ③セミナー風景動画 口. 若年層向け動画配信セミナー

#### 2. ホームページ等の充実

ITツールを活用した情報提供に当たっては、旗艦的役割を果たすホームページにおける内容の充実が先決的重要課題であるとの認識のもと、金融・証券知識に係る動画・テキストコンテンツの拡充等に努めている。また、利用者がコンテンツにスムーズにアクセスできるように各関係団体の金融経済の学習に関するWEBコンテンツを利用者別・目的別に区分したリンク集「金融経済\*学習お役立ちナビ」を掲載している（別紙3 p8）。

なお、メールマガジンについては、配信登録者の拡大のために川柳募集などの企画を実施するなど大幅な見直しを行うとともに、セミナー等での同メールマガジンのPRに努めている。

#### 3. インターネット広告の活用

これまでの新聞広告等による告知方法だけでは、あまりに高コストになることから、「投資の日」記念イベントでは、WEB広告等を有効的に活用しホームページの特設サイトへのトラフィックの拡大を図った。また、動画コンテンツの拡散については、YouTubeなどの無料動画サイトの活用についても検討している。

### Ⅳ 国民各層の世代、知識又は経験に応じた金融リテラシー向上への支援策

#### 1. ターゲットの明確化

すぐに全ての国民層に対し有効な支援活動を行うことは、人的、資金的な面を考慮すれば、現実的にはなかなか難しい現状にある。

本協会は、これまで「中学・高校生」や「中高年層」を中心に支援活動を行ってきた。しかしながら、「関係団体等が取り組んでいる金融経済教育等の主な取り組み状況（未定稿）」（別紙4）を見ると、日本をこれから支える「卒業を控えた大学生（新社会人を含む）」、「現役若年層」について、やや手薄である。このため、この層にも関係各機関と連携しつつ注力している。

## 2. 中学生・高校生への対応

金融教育を将来の生き方に繋がる前向きな問題として認識し、学校教育の早い段階から継続して行っていくことが重要である。特に、「分かりやすい」、「面白い」あるいは「親しみやすい」ツールを利用し、生徒の興味、関心を高めることも重要である。

そこで、後掲「Ⅴ 学校教育に対する金融経済教育支援」のとおり、教員向けセミナーの魅力向上、使いやすい体験型補助教材の提供などに努めている。

## 3. 大学生(新社会人を含む)への対応

関係団体等における取組み状況を見ると大学生向けの支援の手薄さが窺えるところであり、社会の入り口に位置している層であることに鑑みれば、率先した金融リテラシーの向上が求められるところである。

また、就職活動に忙殺され大学時代にライフプラン、マネープランを意識する余裕がなかった新社会人に対しても、基礎的な金融の知識から確定拠出年金制度までの整合性のある情報提供を含めた支援が喫緊の課題と認識されている。

このような状況を踏まえ、可及的にこれから社会人となる大学生、新社会人、若年層向けにライフプラン、マネープランの重要性や金融商品及び確定拠出年金に関する基本的な知識を習得していただくために、各関係団体が発行する動画DVDや刊行物の一つに取りまとめてパッケージ化した「社会人のためのマネープランガイド」キット2,000部(現在2,000部増刷中)を無料で提供している(別紙3 p3 2.大学生、新社会人向け(1)「社会人のためのマネープランガイド」キット)。

また、社会人入りを控えた大学生と新社会人を対象に、ライフステージに合わせたライフプランの立て方や、社会人となってからの確定拠出年金への加入や資産運用の重要性を認識してもらい、金融リテラシーを有した自立した社会人を養成するため、パーソナルファイナンスセミナーを開催している(別紙3 p3 2.大学生、新社会人向け(2)セミナー風景動画「パーソナルファイナンスセミナー～自分のためのライフプラン～」)。セミナーの様子は、ライブ配信するとともに、オンデマンド配信も行い、一層の情報拡散に努めている。当該セミナーは来年2月頃にも実施予定であり、毎年継続していく方針である。

## 4. 現役若年層への対応

投資未経験者である現役世代向けのセミナー等を開催しても、狙いとする世代の参加率は低い現状にあり、資産運用に関して無関心であることが窺える。

我が国の財政と年金をはじめとする社会保障制度の現状を踏まえれば、公的な仕組みのみに頼りながら豊かな老後を過ごすことに多くの国民が不安を感じていると言わざるを得ない状況であり、若い年代からいかに投資についての考えを深め、資産形成を行うかが国民的な課題となってきた。

そこで、「投資の日」記念イベント等において、「自分の未来は、自分でつくる。」

というキャッチフレーズのもとに、若年層向けのテーマを掲げた動画配信セミナー、ラジオ番組の放送、全国的なセミナー展開等を図っているほか、OL・主婦向けなどターゲットをより絞ったセミナーの開催やゲーム感覚で楽しめる動画の作成や読み進めやすい刊行物の作成に努めている（別紙3 p5 (2) 動画 ②「つぶやきシローの人生すごろく」（仮）【制作中】）。

#### 5. 中高齢者への対応

金融資産の中心的な保有層である。しかしながら、金融商品の高度化や詐欺的行為の手口の複雑化によって、金融商品に関する知識・情報を正しく理解しないまま当該金融商品を購入してしまったために金融商品取引業者とのトラブル及び未公開株・社債等の詐欺被害の当事者となるのも圧倒的に高齢者である。

そこで、高齢者ならではのニーズに合ったポートフォリオを形成できるような金融商品に関する基礎的な情報の提供が必要であるとともに、インベスター・アラートの観点からも、中高齢者への支援を継続している。

### V 学校教育に対する金融経済教育支援

#### 1. 副教材の制作・普及

新学習指導要領に沿い、かつ「分かりやすい」、「面白い」を基本コンセプトとして、生徒が主体的に楽しみながら学べる体験型教材として、平成24年度から中学生向けの副教材の提供を開始している。当教材は、限られた授業時間で有効に使えるよう工夫（1～4時間用、DVD付）している。

高校生向け副教材については、高等学校の新学習指導要領が実施される平成25年度からの提供に向け、現代社会の授業での導入を目指し、「現代の企業」、「直接金融」、「為替・金利・景気」をテーマに現在、試作版を制作中である。

これらの教材は、学校への教材リーフレット送付、教員向けセミナーでの実習や実践事例の紹介等を通じて普及を図っている。

#### 2. 教員向け情報提供

教員向けのセミナー（夏期、冬期）、学校長セミナーの開催、情報誌（レインボーニュース）の発行及び金融経済教育に関するウェブサイトを通じて金融経済教育の実践に資する様々な情報を提供している。

なお、学校長セミナーの模様については、情報の拡散を図るため、オンデマンドによる動画配信を行っている。

#### 3. 教員へのアプローチ等

金融リテラシーの必要性について関心のない教員を対象とした施策を費用対効果の側面から見直し、関心ある教員を対象にしたアプローチへの転換を図っている。関心のある教員から教育現場のニーズや情報収集を行い、事業への反映を図ることにより、より効率的・効果的な活動を展開する。

なお、本協会から教員へのイベント情報の案内や教員からの意見・要望等を収集する手段として、登録会員数を積上げ、メールによる双方向の情報交換を活用することを検討する。

#### VI 教育の専門家と金融の専門家を繋ぐ研究分野の横断的な組織の立ち上げ

教育の専門家と金融の専門家が相互の理解を深めるとともに、その経験や知識、問題意識を共有して、問題解決に向けて協働することにより、我が国における金融経済教育の一層の充実、発展に寄与する。

特に「生きる力」を育成するとの学習指導要領の理念を踏まえ、生活の基盤を支える金融の分野において、子どもたちが金融・経済の仕組みを理解したうえで、合理的な判断に基づく意思決定を行えるよう支援することを重視している。

そこで、横断的な組織の設置に向けて、教育の専門家と金融の専門家の双方の意見をヒアリングし、組織の形態、運営方法、活動内容等についての概要をとりまとめているところである。

本協会としては、今後、横断的な組織の成果物を活用し、①学習指導要領における金融・経済に関する記載内容の拡充に向けた方策を推進するとともに、②教育現場における教材・指導方法のノウハウの普及を図る方向で検討を進めている。

以 上

金融・証券教育支援委員会名簿

平成 24 年 9 月 6 日

委員 長	藤 沢 久 美	(シンクタンク・ソフィアバンク 副 代 表 )
副 委 員 長	東 英 治	(日本証券経済研究所 理 事 長 )
公 益 委 員	鮎 瀬 典 夫	(金融広報中央委員会 事 務 局 長 )
〃	石 田 和 靖	(ワールドインベスターズTV 総合プロデューサー )
〃	楠 本 くに代	(金融消費者問題研究所 代 表 )
〃	小 林 洋 司	(全国公民科・社会科教育研究会 会 長 )
会 員 委 員	岡 宮 照 行	(長 野 証 券 代 表 取 締 役 会 長 )
〃	楠 雄 治	(楽 天 証 券 代 表 取 締 役 社 長 )
〃	三 浦 栄 治	(野村ホールディングス 執 行 役 員 )
〃	山 口 隆 弘	(山 和 証 券 代 表 取 締 役 社 長 )
特 別 会 員 委 員	加 藤 純 一	(み ず ほ 銀 行 常 務 執 行 役 員 )
〃	戸 所 邦 弘	(埼 玉 り そ な 銀 行 代 表 取 締 役 副 社 長 兼 執 行 役 員 )
有 識 者 委 員	乾 文 男	(投 資 信 託 協 会 副 会 長 )
〃	浦 西 友 義	(東京証券取引所グループ 常 務 執 行 役 )
〃	村 田 雅 幸	(大 阪 証 券 取 引 所 執 行 役 員 )
常 任 理 事 ・ 会 長	前 哲 夫	

以 上 16 名  
(五十音順・敬称略)

## 金融・証券教育支援委員会ワーキング・グループ委員名簿

平成 24 年 10 月 1 日

主査	翁	百 合	( 日 本 総 合 研 究 所 理 事 )
副主査	松 古	樹 美	( 野村ホールディングス コーポレート・システ ミッツ推進室長 )
委員	伊 藤	宏 一	( 日本ファイナンシャル・ プランナーズ協会 専務理事 )
"	岩 井	亨	( 大和証券グループ本社 広報部 CSR 課長 副 部 長 )
"	椎 名	康 雄	( 東京証券取引所グループ CSR推進部参事役 )
"	竹 腰	雄 一 郎	( 投 資 信 託 協 会 企 画 政 策 部 長 )
"	辻	浩 二	( み ず ほ 銀 行 証 券 ・ 信 託 連 携 推 進 部 参 事 役 )
"	永 沢	裕 美 子	( Foster Forum 良質な 金融商品を育てる会 事務局 長 )
"	平 澤	光 弘	( 金 融 広 報 中 央 委 員 会 事 務 局 次 長 )
"	三 宅	綾	( 大 阪 証 券 取 引 所 コーポレートマーケティング グループリーダー )
"	若 園	智 明	( 日 本 証 券 経 済 研 究 所 主 任 研 究 員 )
オブザーバー	岡 田	大	( 金 融 庁 総務企画局政策課 金融企画管理官 )

以 上 12 名  
(五十音順・敬称略)



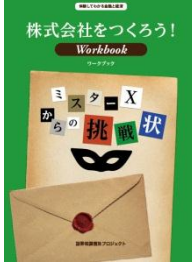
## 提供教材等一覧

(平 24.11.27)

日本証券業協会  
金融・証券教育支援本部

## 1. 学校向け

## (1) 学校向け提供教材

	<p>①「株式会社をつくろう! ミスターXからの挑戦状」 会社（企業）に視点をあてた体験型教材です。会社の社会的な役割と責任、株式会社のしくみ、金融のしくみなどについて、起業・資金調達・経済理解の3パートを通してコンパクトに学べる内容となっております。 (中学校向け/[内容物]生徒用ワークブック・ワークシート・教授用手引書・DVD)</p>
	<p>②「みんなで体験! 株式会社とお金のしくみ」 金融・経済について理解をより深めることを目的とした体験型教材です。「知識編」では金融・経済の知識を、「体験編」では株式会社経営・投資・消費について、ワークを通じて学べる内容となっております。 (中学校・高校向け/[内容物]ワークブック・ワークシート・教授用手引書・DVD)</p>
	<p>③「株式学習ゲーム」 実際の株価（終値）に基づいて、生徒同士で話し合いながら模擬売買を行う体験型教材です。株価変動の背景となっている現実の経済・社会の動き、実際の企業情報に興味・関心を持たせることを目指した内容となっております。 (中学校・高校・大学向け/[内容物]ガイドブック・売買対象企業一覧・ガイダンスDVD・かぶしき虎の巻[視聴覚教材DVD])</p>
	<p>④「株式会社制度と証券市場のしくみ」 株式会社制度の役割や株式の経済的意義等を、イラストを多く使って分かりやすく解説した小冊子です。経済や株式を学ぶ際の補助教材として活用していただける内容となっております。 (高校向け/A4判・13ページ)</p>
	<p>⑤「おだんご娘。とフシギな経済テレビジョン ～株式会社とお金のしくみ～」 つぶれそうになっている老舗のおだんご屋の娘マリが、テレビの中のご先祖様から、経済や金融の仕組みについて学び、お店を立て直して上場を目指すストーリーの視聴覚教材です。経済や金融の仕組みをアニメーションやCGで分かりやすく解説する内容となっております。 (中学校・高校向け/DVD[全29分])</p>



### ⑥「レインボーニュース」

著名人の対談や経済用語の解説、先生方の実践レポート、企業訪問記事など、今後の授業に役立てていただける教育関係者向け情報誌です。ホームページでは過去のバックナンバーもご覧いただけます。

(中学校・高校向け／最新号 vol. 19[2012年8月号])



### ⑦「金融経済ナビ」

マンガや図解で、金融経済・株式・債券等を解説する「まなぼう！金融経済」、金融経済についてドラマ仕立ての動画で学べる「熱血！ケーザイ家族！！」など、授業をサポートするコンテンツを揃えたWEBサイトです。確認テストや資料用素材も豊富で、電子黒板にも対応しております。

(中学校・高校向け／[<http://kinyu-navi.jp/>])

## (2) セミナー風景動画

### 「学校長向けセミナー」

日 時：2012年8月10日（金）14:45～16:50

テーマ：「自立した社会人育成に向けて～なぜ金融経済教育なのか～」

講 師：石毛 宏 氏（帝京大学 教授）

開催地：クラブ関東

(東京都千代田区丸の内1丁目3-1 東京銀行協会ビルディング 19階)

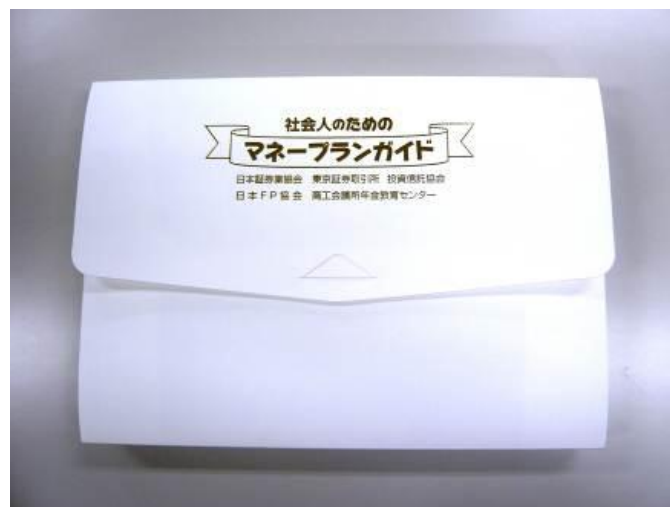


## 2. 大学生、新社会人向け

### (1) 「社会人のためのマネープランガイド」キット

#### ◆キットの内容

- DVD 1. 「輝け 私のライフプラン！」（本協会、日本FP協会）
- 2. 「よくわかる証券投資の基礎知識」（本協会）
- 刊行物 3. 「学生生活マネー&キャリア お役立ちハンドブック！」  
（日本FP協会）
- 4. 「株式会社制度と証券市場のしくみ」
- 5. 「はじめての！資産運用」（本協会）
- 6. 「株式投資の基礎知識」（本協会）
- 7. 「わかりやすい投資信託ガイド」（投資信託協会）
- 8. 「知っていますか？東京証券取引所」（東京証券取引所）
- 9. 「確定拠出年金入門」（本協会、商工会議所年金教育センター）



### (2) セミナー風景動画

「パーソナルファイナンスセミナー～自分のためのライフプラン～」

日 時：2012年2月15日（水）17:30～20:00

テーマ：「自分のためのライフプラン」

講 師：伊藤 宏一 氏（日本FP協会 常務理事／千葉商科大学 教授）



開催地：ワールドインベスターズ トラベルカフェ

（東京都港区六本木6-1-3 六本木六門ビル1F）



3. 一般向け  
 (1) 刊行物

	<p>①「はじめての! 資産運用」        新社会人を中心とした 20 代～30 代の若年層を主な対象として、ライフプラン・マネープランの大切さや金融商品の基礎知識を平易に分かりやすく解説した入門書となっております。        (A4 判・34 ページ)</p>
	<p>②「証券投資ワールド ~上手な運用へのガイド~」        証券会社の取扱商品をはじめ、代表的な金融商品を解説した総合ガイドブックです。各商品のしくみや特徴をわかりやすくまとめています。        (B5 判・48 ページ)</p>
	<p>③「株式投資の基礎知識」        株式投資を行うにあたっての心構えから、具体的な情報収集や指標の見方など株式投資の基礎知識を解説しています。        (B5 判・40 ページ)</p>
	<p>④「女性のためのスタイリッシュ投資 ライフ」        将来の豊かな暮らしを実現するための「マネープラン」の考え方や、証券投資などによる資産運用についての初歩的なノウハウを紹介しています。        (B5 判・48 ページ)</p>
	<p>⑤「確定拠出年金入門」        確定拠出年金のしくみや特徴、留意点などについて分かりやすく解説した入門書で、これから確定拠出年金を学びたい方、始めたい方、新社会人向けの導入本として最適です。        (A4 判・20 ページ)</p>

	<p>⑥「個人投資家のための証券税制Q &amp; A 平成24年度版」 証券税制を個人投資家向けにわかりやすく、イラストや図解入りのQ &amp; A方式でコンパクトに解説した冊子です。 (A4判・20ページ)</p>
	<p>⑦「平成23年度改正対応版 証券税制ガイド」 証券税制について、図表やQ &amp; Aを交えて個人投資家にもわかりやすく詳細に解説した冊子です。 (B5判・152ページ)</p>

(2) 動画

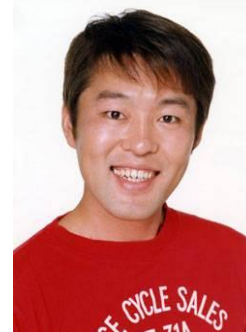
① 動画で学ぼう！よくわかる証券投資の基礎知識」

第一話 証券投資入門 / 第二話 投資信託入門 / 第三話 株式投資入門 / 第四話 債券投資入門



② 「つぶやきシローの人生すごろく」(仮)【制作中】

ライフプラン・マネープランについてゲーム感覚で楽しく視聴しながら学べる動画を鋭意制作中。予告編は2012年10月に掲載、本編は2013年2月頃に完成予定。



③ セミナー風景動画

イ. O.L向けセミナー in 大阪 女性のための暮らしを見直すマネープラン

日時	: 2012年7月18日(水) 19:00~20:00
テーマ	: 「女性のための暮らしを見直すマネープラン」
講師	: 北野 琴奈 氏 (ファイナンシャル・プランナー)
開催地	: 大阪ブリーゼプラザ小ホール (大阪市北区梅田2-4-9)



ロ. 若年層向け動画配信セミナー【準備中、近日配信予定】

日時	: 2012年10月4日(水) 19:00~21:00
開催地	: 東京国際フォーラム ホール B7 (東京都千代田区丸の内3-5-1)
主な内容	<p>19:00~19:50 講演  「変身：将来を無視して暮らしてきた世界経済の展望」  ロバート・フェルドマン氏  (モルガン・スタンレーMUFG証券(株)  チーフエコノミスト兼債券調査本部長)</p> <p>20:00~21:00 トークショー  お笑い証券・金融塾「自分の未来は、自分でつくる。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大竹のり子氏 (ファイナンシャル・プランナー)</li> <li>内山貴博氏 (ファイナンシャル・プランナー)</li> <li>ゲスト：北陽 (タレント)、Wコロン (タレント)</li> <li>MC：白井京子氏 (TBS954 情報キャスター)</li> </ul>



④ 「104（とうし）バスツアー2012」動画【準備中、近日配信予定】

日本の近代資本主義に関わりの深いスポットをめぐり、経済や金融の発展と歴史を体感できるバスツアーです。  
なかなか目にすることのできない金融施設等も見学できます。

【コース例】

10月4日（木）（所要時間：7時間程度）

出発→渋沢史料館→昼食→東京証券取引所→日本銀行→解散（東京都中央区）

※タレントの石井寛子さんが参加するコースは、動画撮影を行い、後日、ホームページ上で配信いたします。



#### (4) Webコンテンツ

#### 「金融経済\*学習お役立ちナビ」(金融経済の学習に関するWEBコンテンツリンク集)

各関係団体の金融経済の学習に関するWEBコンテンツを利用者別・目的別に区分してリンク集を作成し、本協会ホームページに掲載している。

##### ◆参加団体

金融庁、知るぽると(金融広報中央委員会)、証券知識普及プロジェクト、東京証券取引所、大阪証券取引所、投資信託協会、日本証券業協会

The screenshot shows the JSDA website interface. At the top, there is a logo for JSDA (Japan Securities Dealers Association) and navigation links for English, Site Map, and Contact Us. A search bar is also present. Below the header is a main navigation menu with categories: Learn (学ぶ), Investigate (調べる), Know (知る), Prepare (備える), Resources (資料室), and JSDA Activities (日証協の活動). The current page is titled 'Financial Economics \* Learning Support Navigation' (金融経済\*学習お役立ちナビ). The main content area includes a description of the learning link collection, a list of participating organizations, and a table of seminars categorized by audience: General (一般), Education-related (教育関係者), and Student (学生). A sidebar on the right offers additional learning resources for investors, students/educators, market participants, and the press.

**金融経済\*学習お役立ちナビ**

関連団体による金融・経済に関する学習リンク集です。

参加団体  
金融庁、知るぽると(金融広報中央委員会)、証券知識普及プロジェクト、東京証券取引所、大阪証券取引所、投資信託協会、日本証券業協会

セミナー・イベントに参加したい / 読んで学習したい(WEBテキスト) / 動画・アニメで学習したい / 刊行物がほしい / DVDがほしい / 講師派遣を依頼したい / 教材(ツール)を利用したい / メールマガジンを購読したい

一般の方向け	教育関係者向け	学生向け
<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナーで学ぼう (金融広報中央委員会)</li> <li>イーネット (証券知識普及プロジェクト)</li> <li>東証アカデミー (東京証券取引所)</li> <li>大証セミナー (大阪証券取引所)</li> <li>投信フォーラム (投資信託協会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融教育ステーション (金融広報中央委員会)</li> <li>先生のための夏休み経済教室 (東京証券取引所)</li> <li>小・中・高校生向けプログラム (東京証券取引所)</li> <li>教員向けセミナー (日本証券業協会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学生向けプログラム (東京証券取引所)</li> <li>セミナー情報(学生向け) (日本証券業協会)</li> </ul>

**■ 学ぶ**

投資を学びたい方へ

- 動画で学ぼう! よくわかる証券投資の基礎知識
- 証券投資の基礎
- 株式投資の基礎
- 投資信託の基礎
- 債券投資の基礎
- もっと知りたい! Q&A
- 各種刊行物
- セミナー・イベント
- 金融・証券用語集
- 相場格言集

投資者の方へ  
Investors

学生・教育関係者の方へ  
Students and Educators

市場関係者の方へ  
Market participants

報道関係者の方へ  
Press

以上



関係団体等が取り組んでいる金融経済教育等の主な取り組み状況(未定稿)

平成23年12月2日  
日本証券業協会 金融・証券教育支援本部

分野/区分	小学校	中学校	高等学校	大学	一般(親世代・主婦・高齢者)
日本証券業協会	刊行物		株式会社制度と証券市場のしくみ		証券投資ワールド—上手な運用へのガイド— 株式投資の基礎知識
	セミナー・シンポジウム等				わかりやすい投資信託ガイド(日証協・投信協) 女性のためのスタイリッシュ・投資ライフ 証券税制ガイド 個人投資家のための証券税制Q&A IRセミナー 日本証券業協会
	WEBサイト				
	講師派遣				
証券知識普及プロジェクト	刊行物				
	セミナー・シンポジウム等				
	教材				
	コンクール等				
東京証券取引所グループ	WEBサイト				
	刊行物				
	セミナー・シンポジウム等				
	教材				
投資信託協会	WEBサイト				
	講師派遣				
	その他事業				
	刊行物				
エイブロシス	WEBサイト				
	講師派遣				
	刊行物				
	教材				
金融庁	WEBサイト				
	コンクール等				
	その他事業				
	WEBサイト				
日本銀行	WEBサイト				
	コンクール等				
	その他事業				
	WEBサイト				

分類/区分	小学校	中学校	高等学校	大学	一般(獨逸世代・主婦・高齢者)	
金融広報中央委員会	刊行物	こづかい帳 100万円あったら、どうする？マンガ版 お金の役割って何だろう？	10代のためのマネー入門			
	セミナー・シンポジウム等		都道府県金融広報委員会の教員向けイベント(各都道府県金融広報委員会)	生活夢プラン	くらし塾きんゆう塾	
	教材	ボクの次小屋日記 お金って何？リスクと自己責任 100万円あったら、どうする？	読解！若者の経済的自立 「金融教育を学べる」小論文コンクール 「金融と経済の明日」小論文コンクール	WHAT'S 自己責任？ これであなただもひとり立ち自立のためのWORKBOOK-		
	コンクール等		「おかねの作文」コンクール			
全国銀行協会	講師派遣				(金融広報アドバイザー等(各都道府県金融広報委員会)) 私の夢&銀行—やさしい銀行のはなし— なぜ？どうして？どうなってるの？—銀行!5のQ&A—	
	刊行物	知ってるようで、よく知らない。銀行って、なに？ 知ろう！学ぼう！お金の使い方 近未来ストーリー—What "TIME" is it? お金を借りる&使う時に大切なこと			ズバリ！私のどこがいけなかったの？—買つてきあうローン&クレジット—	
	教材				知りたいけど聞けなかったお金の話 金融商品を選ぶ、その前に	
	WEBサイト		ざんこう寺子屋	ドキュメントアイ"ザ・バンク" 銀行の役割と金融取引の注意点を徹底取材	全国銀行協会	
信託協会	講師派遣			どこでも出張講座(全国銀行協会職員派遣)		
	刊行物				やさしい信託のはなし—遺言と信託—	
	WEBサイト				信託協会職員	
	講師派遣					
生命保険文化センター	刊行物	助け合いの歴史—生命保険物語—			生き生きTOMORROW—わたしたちの生活設計— なるほど知っ得！ 生命保険Q&A	
	セミナー・シンポジウム等				新・ライフプランガイドブック—生き方多様化の時代～新・生活設計のすまめ～	
	教材				生活とリスク管理—生命保険の基礎講座 生命保険実学講座	
	講師派遣				私のライフプラン—生活設計とリスク管理— くらしの損害保険GUIDE BOOK 高等学校の授業やHRのための損害保険情報誌 高校教育資料	
日本ファイナンシャル・プランナーズ協会	刊行物	「仮想生活ゲーム」で学ぶ—家計支出と自己責任— くらしの安全・くらしの安心マンガゼミナール			そんな情報スクエア	
	WEBサイト					
	刊行物				学生生活マネー&キャリア お役立ちハンドブック	
	講師派遣				10代から学ぶパーソナル・ファイナンサー—社 会人になっても役立つお金の知識—	
日本損害保険協会	WEBサイト				日本ファイナンシャル・プランナーズ協会	
	講師派遣					
	講師派遣				パーソナルファイナンサー教育インストラクター 派遣	
	講師派遣				消費者教育講師 派遣	

(注)各団体のホームページ等の内容を参考に本協会金融・証券教育支援本部にて作成。

## 金融リテラシー向上のための取組み等について(大枠)

## 1. 目指すべき金融リテラシー

自らが将来を豊かに過ごすために、ライフプランの概念を認識のうえ資産運用をポジティブに捉え、必要な金融・証券や金融商品の知識およびリスクとリターンの関係を正しく理解し、自ら主体的に正しく判断・行動できる能力を備えることが求められる。

## 2. 主なターゲットと取組み

ターゲット	取組状況			中心的な内容
	過去		現在	
中学生	○	→	○	「分かりやすい」、「面白い」という観点から金融経済への興味・関心を喚起
	[継続的な取組]			
高校生	○	→	○	直接金融と間接金融、株式の概要、投資の社会的意義
	[継続的な取組]			
大学生 (新社会人を含む)	×	→	○	ライフプラン、マネープランを認識することの重要性、将来に向けた投資の意義
	[新規の取組]			
若年層 (20～30 才台)	×	→	○	ライフプラン、マネープランを認識することの重要性、長期投資・分散投資の有用性
	[新規の取組]			
中高年層	◎	→	◎	金融商品に関する正しい理解(トラブルの未然防止)と詐欺被害への注意喚起
	[重点的な取組]			

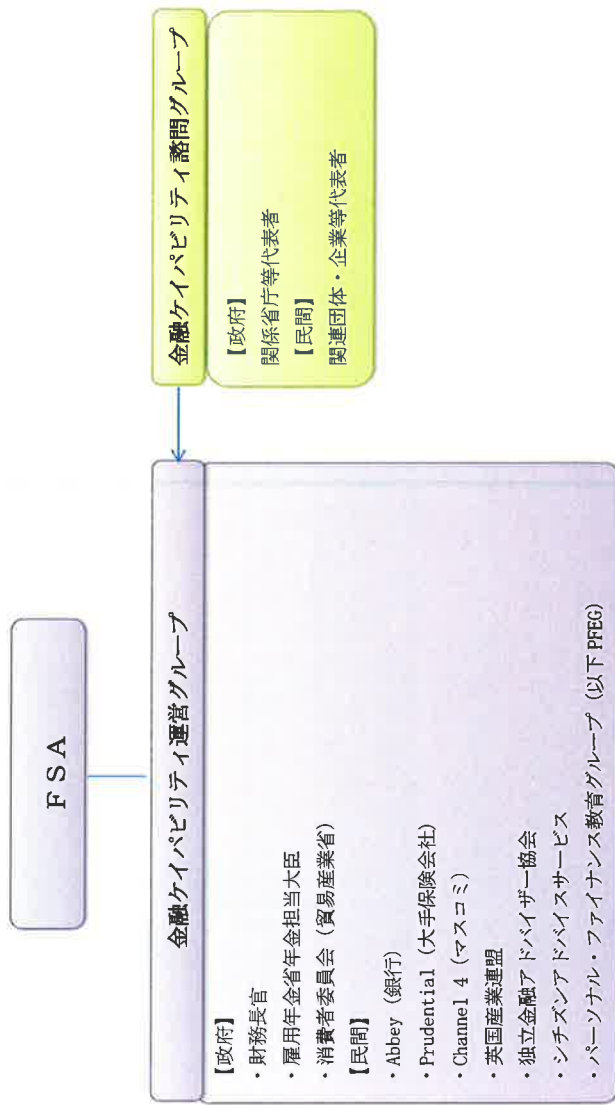
## 3. スキームの在り方

英国F S Aの主導により、2003年11月、既存の関係官庁、民間諸団体等の活動・ノウハウを尊重しつつ、協調してFinancial Capabilityを引き上げるための国家的なフレームワークを打出した。

この英国におけるアプローチが、最も参考になるのではないか。

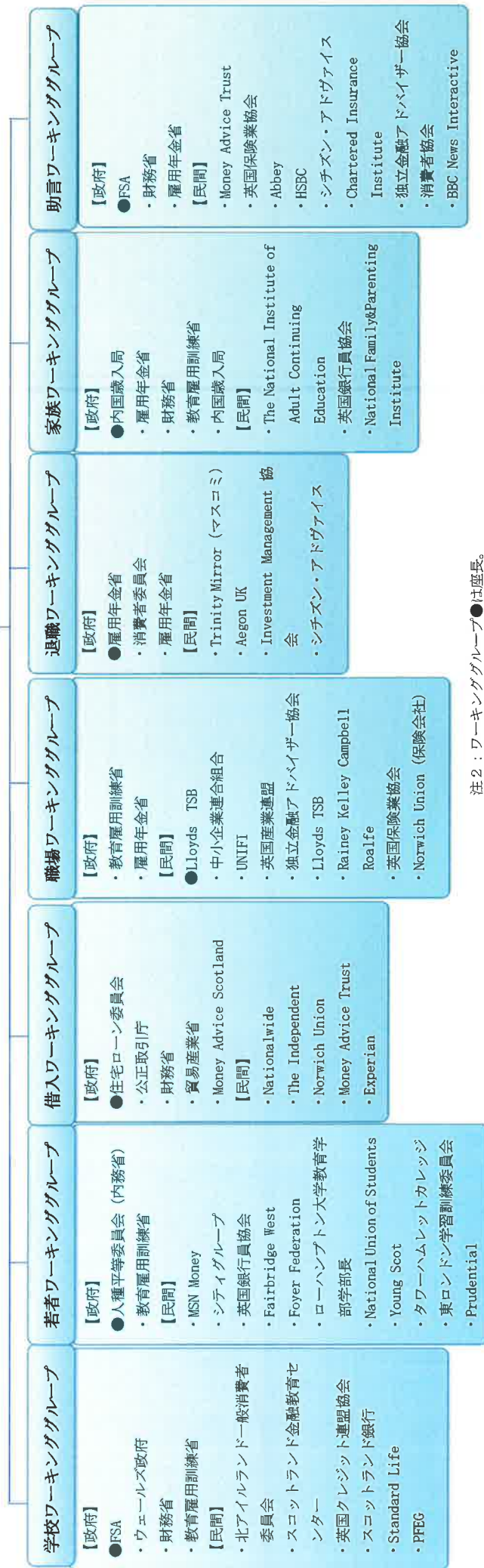
以 上

金融ケイパビリティ国家戦略に対する英国 FSA の取組みについて



- ・1998年の金融サービス市場法案の公表を契機として、FSA主導による金融教育への取り組み開始した。
- ・2003年「Towards a national strategy for financial capability」を発表し、金融教育への取り組みの第二段階として、以下のような方針を打ち出した。
- ① 国家戦略達成にあたって、既に様々な観点から金融教育に取り組んでいる機関・団体・企業等と目的を共有し、一貫性のある統合的で長期的な取り組みを行うため、協調によるアプローチを基礎とする。
- ② 協調にあたっては、各機関が独自の目的に基づいて独自の活動を行っていることを尊重する。
- ③ 協力機関は、金融ケイパビリティ運営グループ、諮問グループ、ワーキンググループに参加した。
- ④ 活動のための優先課題として、学校、若年層、職場、家族、借入れ、助言の7つの分野を特定し、それぞれに対してワーキング・グループを立ち上げて検討を行った。<sup>注1</sup>

注1：「Building financial capability in the UK」(FSA, 2004)参照。



注2：ワーキンググループ●は座長。

注3：FSAによる最新の取組みは「Introducing National Strategy for Financial Capability」(FSA, 2011)を参照。